Panasonic 光る✳チャイム 品番 EC170

取扱説明書
施工説明付き

EC170

- お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
  ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書は大切に保管してください。
- 施工するには、電気工事士の資格が必要です。
- 施工後、必ず施主様に商品説明をしていただき、取扱説明書をお渡しください。
- 万一、取扱説明書にしたがわず施工された場合の事故や故障などについては責任を負い兼ねることがあります。

付属品	● 取付木ネジ（4×20）……2本 ● パナソニック電工お客様ご相談窓口のご案内…1枚 ● 取扱説明書（本紙）……1枚

安全上のご注意

■必ずお守りください

⚠ 警告

分解禁止	**絶対に分解したり、修理・改造しない。** 感電の原因となります。
必ず守る	**必ず電源（AC100V）を切った状態で施工する。** 活線工事は感電や故障の原因となります。
必ず守る	**AC100V用電源線は確実に差し込む。** 差し込みが不十分な場合、発熱するおそれがあり、火災や焼損の原因となります。
禁止	**水や雨のかかる場所（屋外など）および湿気の多い場所（浴室など）には設置しない。** 感電の原因となります。
禁止	**小勢力端子にAC100V用電源線を接続しない。** 発火・発煙の原因となります。

■仕　様

定格電圧	AC100V　50/60Hz
消費電力	待機時3.5W 鳴動時 12W
音量	70dB以上（定格電圧、1m前方） ただし、「ブー」音は65dB以上
光出力	キセノンランプのフラッシュ光
寿命	4万回鳴動または、点滅動作100時間
使用周囲温度	−10℃〜+45℃
質量	約400g

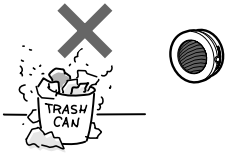
■ご注意

- この商品は屋内専用です。屋外には設置しないでください。
- 本体からのフラッシュ光が断続発光しますので、常時目に入る場所への取り付けは避けてください。
- 夜間など部屋が暗くなると本体の発光が強く感じますので、必要に応じて光量を切り替えてください。

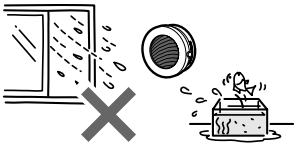
次のような場所には設置しないでください

（誤動作や故障の原因となります。）

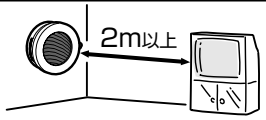
極端に寒い場所・暑い場所
〔冷・暖房の近くや、直射日光の当たる場所〕



ゴミやホコリの多い場所



水や雨のかかる場所（屋外など）
● 感電の原因となります。



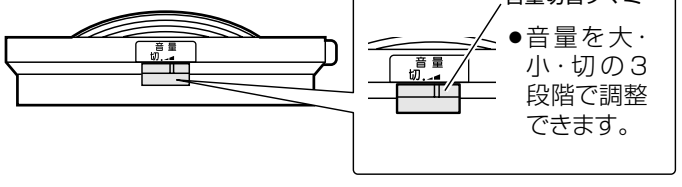
テレビ、ラジオ、ステレオなどの近く
（2m以上離してください。）
● 映像や音声が乱れる場合があります。

直接湯気のかかる場所
湿気の多い場所（浴室など）

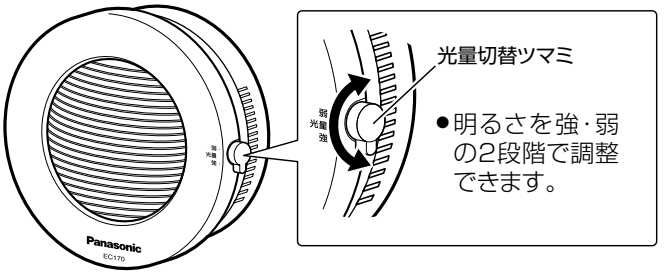
硫化水素の発生する場所（温泉地など）
● 寿命が短くなることがあります。

音量・光量の切替方法

音量の切り替え



光量の切り替え

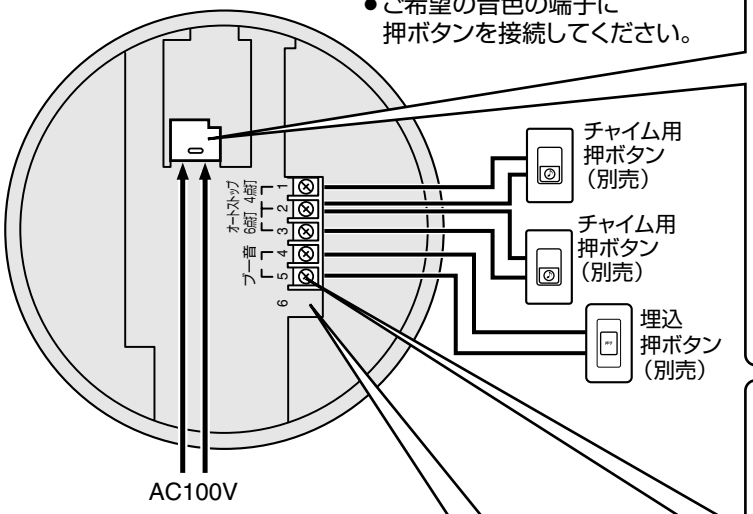


配　線　方　法

- 接続する商品は別途お買い求めください。
- 接続機器については、その商品に付属の説明書をよくお読みください。

裏面 光るチャイム（EC170）

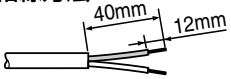
- ご希望の音色の端子に押ボタンを接続してください。



AC100V配線

■適用電線　VVF∅1.6

■結線方法



❶ 電線の被ふくを 12mm むく。

❷ 1本ずつ奥まで強く 差し込む。

⚠ 警告

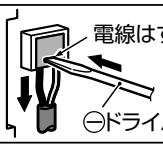
必ず守る

AC100V用電源線は確実に差し込む。

差し込みが不十分な場合、発熱するおそれがあり、火災や焼損の原因となります。

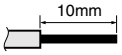
■電線のはずし方

⊖ドライバーで電線はずし穴を押さえながら、電線を引き抜く。

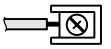


小勢力配線

- 電線の被ふくをむく。



- ネジを確実に締める。



⚠ 警告

禁止

小勢力端子にAC100V用電源線を接続しない。

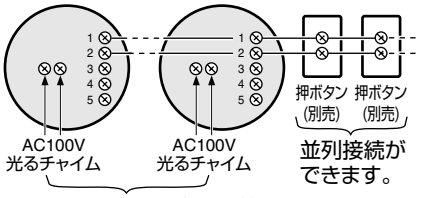
発火・発煙の原因となります。

■押ボタンを押したときの本体動作一覧表

押ボタン ＼ 本体動作	フラッシュランプ	音
1・2端子に接続された押ボタンを押すと…	早い点滅4回を3回繰り返す	「ピンポン・ピンポン」音
2・3端子に接続された押ボタンを押すと…	1秒間隔で10回点滅を繰り返す	「ピンポン・ピンポン・ピンポン」音
4・5端子に接続された押ボタンを押すと…	押ボタンを押している間、早い点滅を4回繰り返す	「ブー」音

注「ブー」音に接続された押ボタンを押し続けても、約2分で点滅と音は切れます。

■光るチャイムを2台以上接続する場合



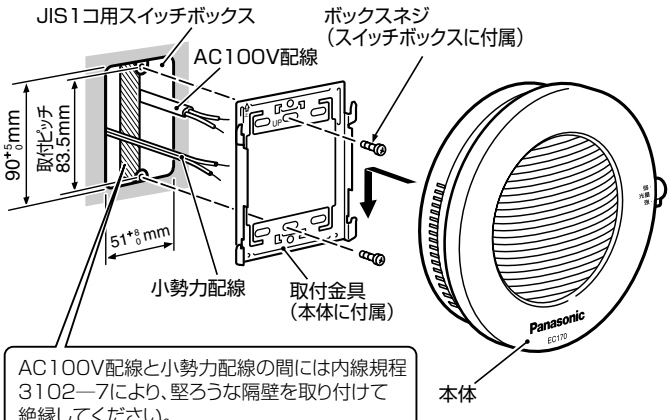
光るチャイムは10台まで接続できます。（同じ端子に送り配線してください。）

■配線可能距離

配線区間 ＼ 使用電線	0.5mm²～0.75mm² または∅0.5～∅1.2
本体～押ボタン	100m

取　付　方　法

ボックス取付の場合

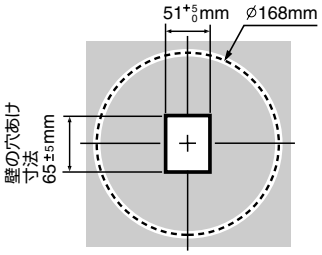


AC100V配線と小勢力配線の間には内線規程3102―7により、堅ろうな隔壁を取り付けて絶縁してください。

ボックスなし取付の場合

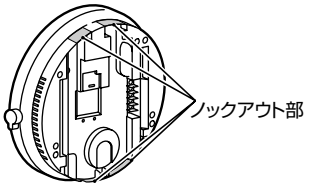
- AC100V配線と小勢力配線が接触しないように施工してください。
- ほかの取付方法はボックス取付と同じです。
- 木壁取付の場合、取付金具は付属の取付木ネジ2本で取り付けてください。

■壁の穴あけ寸法



■露出配線する場合

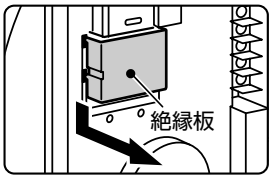
- 配線方向に合わせてノックアウト部をニッパーなどで切り取って配線してください。



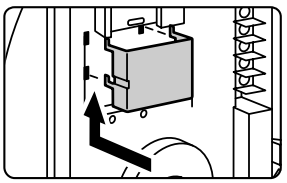
絶縁板について

取付方法

❶ 絶縁板を下にさげてはずす。



❷ 結線後、ツメをミゾ（4ヵ所）に差し込み上へあげる。



- ボックス取付の場合は、絶縁板は不要です。
- ボックスなし取付の場合で壁内面に充填するグラスウールなどが接触するときや、露出配線する場合は、絶縁板を取り付けてください。

パナソニック電工株式会社 HA・セキュリティ事業部　〒514―8555 三重県津市藤方1668

© Panasonic Electric Works Co., Ltd. 2008

8A1 G84 00006　M0307-50708Y